

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見えてきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	城東区
学 校 名	大阪市立すみれ小学校
学校長名	北田 雄三

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は67.0%であり、大阪市の平均と同等、平均正答率0.3、全国の平均正答率より0.3%下回る結果となった。

算数の平均正答率は59.0%であり、大阪市の平均正答率より3%、全国の平均正答率より0.8%上回る結果となった。

理科の平均正答率は63.0%であり、大阪府の平均正答率より3.0%上回ったが、全国の平均正答率より3.2%下回る結果となった。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕平均正答率は67.0%で全国0.3%より低かった。また、無回答率は1.5%であり、全国と比較して-3.3%であった。無回答率の数値から、子どもたちが最後まであきらめずに回答している様子がわかる。「言葉の特徴や使い方に関する事項」では全国よりも3%上回っている。しかし「話すこと、聞くこと」では逆に2%下回っている。「書くこと」では逆に2%上回っている。傾向としては大阪市、全国とほぼ同じ特徴を示している。昨年度まで、視写を採り入れ、書くことに取り組んできたことは一定の成果はあるが、話すことや聞くこと、問題の趣旨や資料を読む力はまだまだ不十分であることが結果としてわかる。

〔算数〕平均正答率は59.0%で全国62.5%より3.5%低い。無回答率は1.3%であり、全国と比較して-2.1%であった。国語と同様に最後まであきらめずに回答している様子がわかる。習熟度別少人数授業の取組みの成果が表れてるといえる。学習指導要領の領域ではどの領域でも全国平均より3%前後下回っている。正答数のグラフも曲線にならず下位層から上位層までばらつきがある。まずは下位層から中位層の学力の底上げが必要であると考ええる。

質問紙調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」の設問では、肯定的な回答が84.1%（全国80.1%）であった。第一層「当てはまる」と回答した割合は52.4%であり、全国の42.6%よりも9.8%高い。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の設問では、第一層「当てはまる」と回答した割合が89%（全国82.6%）であった。全教育活動を通して、教職員による自己肯定感や自尊感情を育む指導や、子どもたちが中心となって活動する「いじめゼロ月間」の取組みの結果が表れていることがわかる。「人が困っているときは、進んで助けている」の設問でも第一層「当てはまる」が51.2%と半数以上の児童が答えている。「人の役に立つ人間になりたい」の設問も第一層「当てはまる」が78.8%となり、自己有用感につながる心の成長が感じられる。

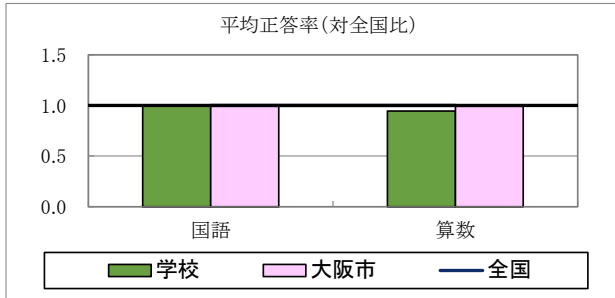
今後の取組(アクションプラン)

学校教育全体を通して、自分の考えをまとめる力、その考えを発表する力そして人の考えを聞く力をつけていく場の工夫をしていきたい。特に自分の考えをグループで出し合い、一人ひとりの考えをさらに深め、さらに学級で話し合うなど深い学びになるように工夫したい。国語科では必ず話す、聞く場をしっかりと学習に位置づけて行きたい。算数では少人数習熟度別学習を見直し、個に応じた授業を充実させたい。「複数のデータを比較して考察したり、活用したりすることができる力」もなど、総合的読解力の育成を充実させたい。

【 全体の概要 】

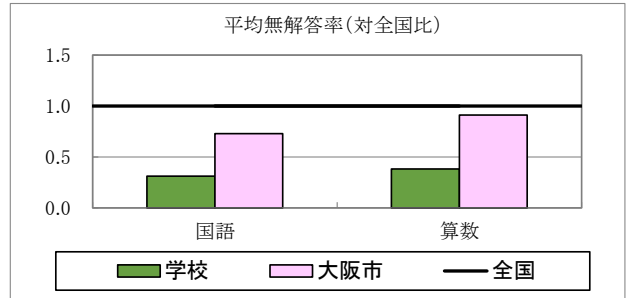
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	67	59
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5



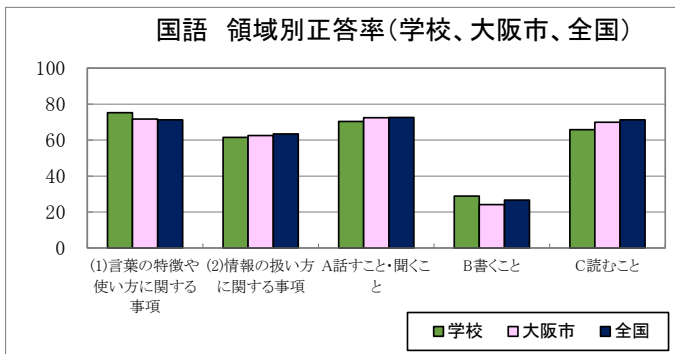
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	1.5	1.3
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4



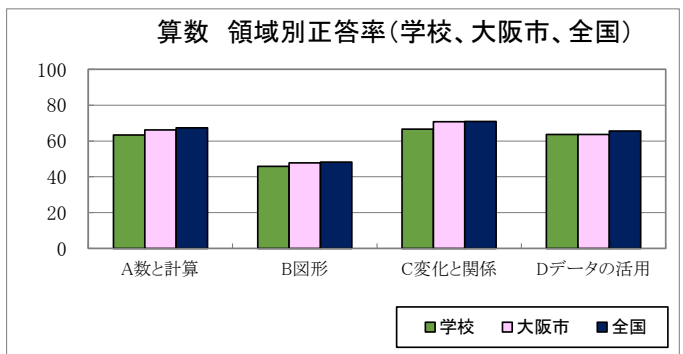
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	75.3	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	61.5	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に 関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	70.4	72.4	72.6
B 書くこと	1	28.8	24.2	26.7
C 読むこと	3	65.8	69.9	71.2

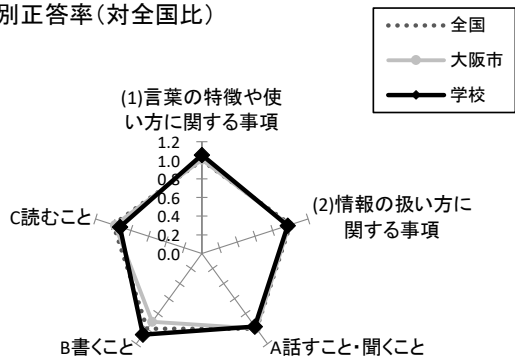


【 算 数 】

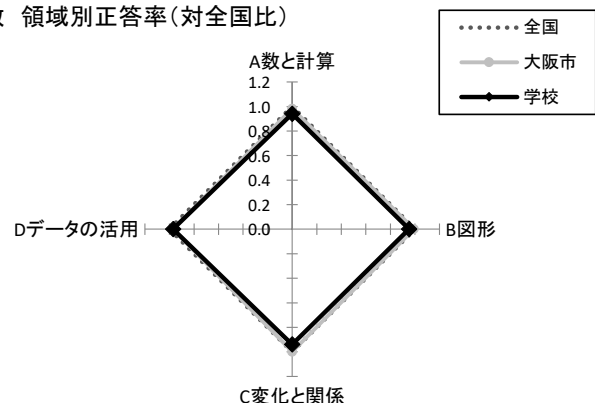
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	63.3	66.1	67.3
B 図形	4	45.9	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	66.6	70.8	70.9
D データの活用	3	63.6	63.6	65.5



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



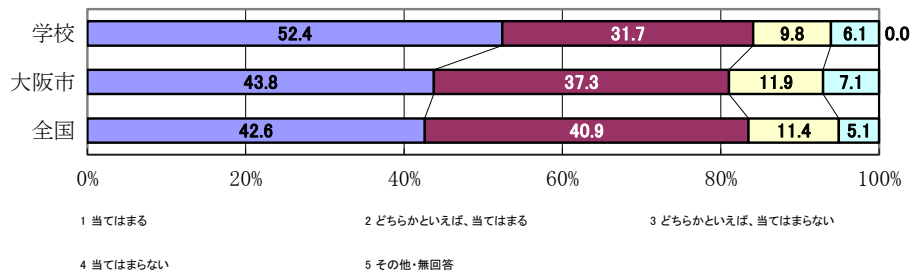
児童質問紙より

質問番号

質問事項

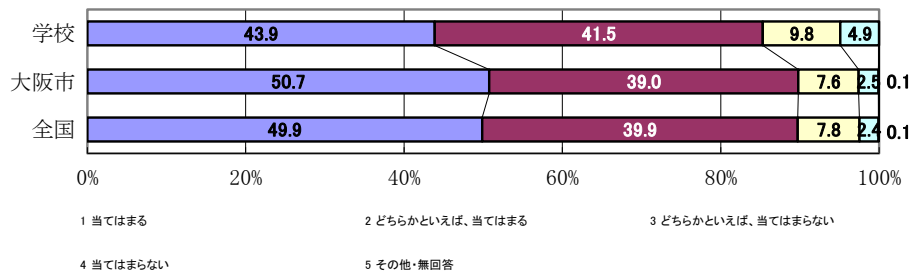
4

自分には、よいところがあると思う



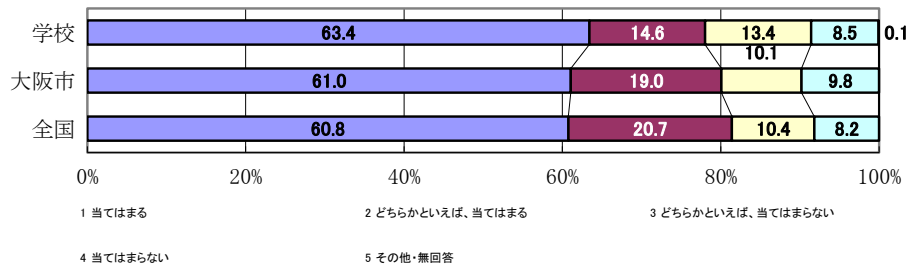
5

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



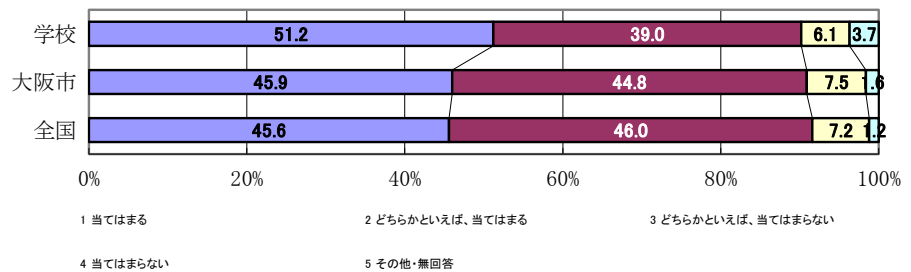
7

将来の夢や目標を持っている



8

人が困っているときは、進んで助けている



9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

